

各部会の報告（運営会議実施日：令和6年11月7日時点）

※前回の開催については、報告済みの会議は除きます。

相談支援部会		
前回の開催内容報告	令和6年10月2日（水）13：30～15：00	参加人数 23名
今月は「精神障がい」をテーマにした事例検討会を実施し、2グループに分かれて、各1事例ずつ検討を行った。 各事例の内容としては、1つ目は、60代女性、一人暮らし、統合失調症の方で、福祉サービスや医療（通院）を拒否する方の支援で、「相談支援専門員として、この方とどう関わっていくべきか」をテーマに検討した。 基本相談での関わりをしていく中で、本人が望む一人暮らしを継続していくために必要な資源について、関係構築の難しさや、キーパーソンがいないこと等の課題から、本人が信頼できる支援者探し、本人の趣味や好きなこと広げるような関わりについて検討を行った。 2つ目は、40代男性、母親と2人暮らしをしている統合失調症の方で、「本人が落ち着いた生活を送るためにどうしたら良いか」をテーマに検討をした。 医療に繋がっているが、服薬ができていないこと、母との関係性の悪さ、金銭管理の難しさについて確認し、まずは相談支援専門員として受診同行を一緒にして行くことから取り組んでいくことや、今後の親なき後の生活を意識していくような関わりについて話し合った。 その後の、情報交換と話題提供では、「レスパイト入院」について情報提供をした。 法人連携推進窓口との連携として、新規利用の流れや、実際に利用して見えてきた課題や、今後の確認事項について共有をした。		
次回開催予定		
令和6年11月6日(水) 13：30～15：30 基幹相談支援センター研修会との合同開催		

精神保健部会		
前回の開催内容報告	令和6年10月16日（水）13：30～15：00	参加人数 22名
今月は、各カテゴリー別（医療・日中活動・就労・住居・ピアサポーター）に分かれて、グループワークを行った。 「医療」の方からは、精神科受診や入院を待つ人が多いこと、病院の医者不足が課題である現状の中、再入院する人が減っていることもあり、地域での支援体制が充実していることが話題提供としてあった。 退院後の体制作りや、サービスに繋がっていない人の緊急時の対応等、相談できる窓口や、ピアサポーターの活動に期待できることの話題があった。 「住居や日中活動」からは、家庭訪問をしたくても拒否が強く、会うことが難しい方への対応についてや、体調の波が激しい方で、GHでの生活のしづらさを抱えている方の支援について話題が上がり、本人の希望やそれぞれの立場で役割の整理が必要なことを検討した。 また、ピアサポーターから、住まいや生活に関しての困り感では、市営住宅等の集合住宅で生活をしたが、町内会に入る等、活動に対応できるか等の不安だとの話があった。 精神障がいに対しての周囲の対応や理解されない現状について、自分達のことを知ってもらえる努力をしたいとの意見があった。 このグループワークを通して、地域への理解は課題であり、精神障害や発達障害により、恋愛や友達付き合い等、コミュニケーション面での難しさはあるが、生活しやすい環境作り、仲間作りができる地域づくりと、支援体制を整えることの確認ができた。		

次回開催予定		
令和 6 年 11 月 26 日（火）13：30～		
十勝圏域精神障がい者地域生活支援事業との合同開催を予定。定例の日時と場所に変更あり。		

こども支援部会		
前回の開催内容報告	令和 6 年 10 月 10 日（木）13：30～15：00	参加人数 57 名
福祉サービスと幼稚園・保育所 ～お互いを知りあおう～というタイトルで、幼稚園・保育所に広く周知を行ったところ、幼稚園・認定こども園から 12 名、保育所から 22 名、福祉サービス 18 名の参加があった。グループワークを予定していたが、たくさんの参加をいただいたため、全体で各事業所の紹介や質問をしあうという形式で行った。話を深めるというところまでは至ることができなかったが、今回を第一回として、今後も引き続き開催していきたい。		
次回開催予定		
12 月ごろを予定		

就労支援部会		
前回の開催内容報告	令和 6 年 10 月 17 日(木) 13：30～15：20	参加人数 26 名
「障害者週間」記念事業実行委員会のオビパラフェスタへ就労支援部会として協力するため、引き続き実施内容の打合せを行った。当日のスケジュールについて確認したほか、販売場所などの配置や時間、ワークショップ・スタンプラリーなどの実施内容について参加者で共有した。 オビパラフェスタは 11 月 28 日（木）～11 月 30 日（土）の 3 日間で行う。当日はくじ引きやスタンプラリーなども行う予定なので、事業所の利用者にも足を運んでいただきたい。		
次回開催予定		
令和 7 年 1 月 21 日（火）13:30～14:30 ソネビル 6 階 研修室		

医療的ケア児等支援検討部会		
前回の開催内容報告	令和 6 年 10 月 1 日（火）15：00～16：15	参加人数 21 名
以下の 4 つの議題について、意見交換・協議を行った。 ・医療的ケア児支援ガイドブックの作成について ・医療的ケア児実態調査の実施について ・医療的ケア児のケース報告 ・事例検討プロジェクトの立ち上げについて ガイドブック作成については、令和 6 年度中の完成を目指して作業を続けることとする。また、令和 6 年度の活動としてあげられていた、事例検討については、効果的に実施するためプロジェクトメンバーを募り、実施方法や取り上げる事例の選定などを担うこととなった。 令和 6 年 10 月 17 日 第 1 回 事例検討プロジェクトを実施。 地域課題の中で、事例検討をとおして解決に向けて動いていく課題について協議を行った。		
次回開催予定		
令和 6 年 11 月 25 日（月）11 時～ 事例検討プロジェクトを実施 令和 6 年 12 月 3 日（火）15 時～ 事例検討を実施		

計画部会		
前回の開催内容報告	令和 6 年 10 月 15 日（火）	参加人数 11 名
「部会長の選任について」 ・ 佐々木会長を計画部会の部会長とする旨の事務局案を提示し、委員の了承を得た。 「帯広市障害者共生まちづくりプランの評価について」 ・ 事務局より、共生まちづくりプランの基本理念、目標と成果指標などの体系について説明を行い、P D C A サイクルを使用した評価の進め方を確認した。 「地域生活支援拠点等の評価・検証について」 ・ 事務局より、地域生活支援拠点等の整備に係る概要、現時点の整備状況について説明を行い、拠点の評価・検証の流れについて確認を行った。 【質疑応答】 Q 1：拠点等の評価を行う際に使用する「総括表」は国様式を使用するのか。 A 1：基本的には国様式を使用することを想定。 Q 2：拠点等の評価は現状努力義務とされているが、今後義務化される見込みか。 A 2：義務化の具体的な時期は示されていないものの、帯広市ではP D C A サイクルを使用した評価・検証を進めていく考え。		
次回開催予定		
令和 7 年 2 月を目途に第 2 回計画部会を開催予定。 次年度より実施する、具体的な評価表等について協議を行う。		

住まいの部会		
前回の開催内容報告	令和 6 年 10 月 31 日（木）13：30～16：00	参加人数 27 名
第 2 回目の開催となった今回は、グループホームの支援員・世話人等に加え、障害者支援施設、救護施設及び不動産関係の方々の参加を頂いた。事例発表では、 ① 地域移行支援とのパラドックス ② 医療における自己決定と終末期 ③ 障がいのある方が地域で暮らすには とのテーマで、それぞれ発表があった（②については、発表者が急遽欠席のため資料配布のみ）。いずれも、障害のある方が地域で生活する上での課題について触れているほか、住まいの確保の重要性や、福祉事業者と不動産事業者の連携の必要性について説明があった。 その後のグループワークでは、地域移行に向けての課題や、グループホームにおける支援の困りごと、実施しているイベントの内容など、悩みや疑問などを共有した。 そのほか、市から、令和 6 年度の報酬改定で定められた「地域連携推進会議」の概要について共有した。		
次回開催予定		
令和 7 年 2 月を予定		